

平成 20 年度第 3 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事要旨

1. 日 時 平成 21 年 3 月 18 日 (水) 15 : 00 ~ 16 : 30

2. 場 所 国立情報学研究所 22 階会議室

4. 議事内容

(1) 次期学術情報ネットワーク(SINET4)検討状況

坂内本部長から、資料 3-1、資料 3-2 に基づき、次期学術情報ネットワーク(SINET4)の検討状況について説明があり、SINET4 の推進にお力添えいただきたい旨の発言があった。

(2) SINET 利用推進室活動報告

NII の阿部 SINET 利用推進室長から、資料 4 に基づき、SINET 利用推進室の活動について報告があった。

(3) 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 5-1、資料 5-2 に基づき、認証作業部会の活動報告があった。UPKI オープンドメイン証明書自動発行検証プロジェクトの参加要領とサーバ証明書利用に係る申合せの改訂について、承認された。

(4) 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

岡部委員から、資料 6 に基づき、情報セキュリティポリシー推進部会の活動報告があり、来年度は政府統一基準第 4 版への対応等を行う旨の説明があった。

(5) 来年度の学術情報ネットワーク運営・連携本部委員について

坂内本部長から、資料 1 に基づき、来年度の学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の構成について説明があった。来年度の委員は拡大する方向で進めるものとし、全国共同利用情報基盤センター長またはそれに代わる方に加えて、各地域の代表や上位レイヤを検討する方に委員をお願いしたい旨の発言があった。また、来年度の学術情報ネットワーク運営・連携本部会議を平成 21 年 5 月に開催したい旨の発言があった。松山委員から、国立情報学研究所学術情報ネットワーク運営・連携本部規定の全国共同利用情報基盤センター長の資格について発言があり、第 3 条第二号を全国共同利用情報基盤センター長もしくはそれに代わる組織の長とすることとした。

(6) その他

1) 青柳委員から、グリッド作業部会の活動報告があり、来年度に向けて NAREGI を次

世代スパコン等にアピールすることによって国内のインフラとして広がっていくことを期待したい旨の発言があった。小林委員から、NAREGI について東北大学と大阪大学のスパコンが連携して稼働した旨の報告があった。川端委員から、KEK と国立天文台が NAREGI で VO を作り連携したこと、KEK の新しいシステムについて NAREGI を正式導入した旨の報告があった。坂内本部長から、NAREGI を育てるために皆様のお力添えをお願いしたい旨の発言があった。

2)NII の山田教授から、TEIN3 の動向について報告があった。坂内本部長から、SINET アジア回線はアジアの教育研究のインフラとして適正なトラフィックで使われており、NII としては情報通信研究機構（NICT）と連携しながら TEIN プロジェクトに協力していく旨の発言があった。

－ 以上 －